

公共施設適正配置・保全実施計画策定にかかる 北部エリア ワークショップ			
場所	江迎町地区文化会館インフィニタス	回数	第2回
日時	2017年08月21日（月） 19：00－21：00		
参加者数	21名		

#### 【全体的な適正配置の検討の方向性】

適正配置の方向性は、やむを得ないと思う。ただし、単なる老朽化などの理由で簡単に集約せず、多様な視点（行政サービスの質、利便性、高齢者の利用、地域特性等）を考慮して、どここの施設をどのように再編していくのか方向性を考えるべきだ。

- ・ 5地区で、スポーツ施設、公民館、支所等は1施設ずつ必要だとは思っているが、複合化、集約化して施設を適正に配置することという考え方は良いと思う。ただし、そのためにそれぞれの機能（施設）のサービスが低下してしまうのではないかと心配している。
- ・ 公共施設の適正配置は仕方がないと思うが、施設から遠くなる地区が出てくるので同時にアクセス面の不便さをどう改善するかを考えるべきである。北部エリアは広域であるのに、さらに再配置をしてしまうと益々不便になってしまう。ハードがいくら充実しても利用するためのアクセスがなければ意味がない。
- ・ 他の旧町の施設を使って欲しいといわれても、わざわざ地域を跨いで使うか疑問がある。また、そうしたとしても、公共施設がないと地域から住民が離れてしまい、子どもの減少といった事態が加速してしまうのではないか。
- ・ 建物があるからそこに集約する、といった単純な方向性で集約してほしくない。防災目的だとか、駐車場などの利便性を向上させるといった方向性を持ってもらいたい。多目的化だけでなく、単機能にして活発に利用してもらうことも考えられる。
- ・ 公共施設がなくなると町が寂れてしまう。老朽化しても、地域にとって重要な施設はリフォームをして残すことも考えられる。仮に施設を廃止するとしても、代わりにどの施設を利用すべきか、しっかり示して欲しい。
- ・ 今後10年間で、まちづくりの計画などとマッチさせて施設を利用することも重要だ。高齢者が利用できる施設を残して欲しい。新しく建設してとは思っていないが、家に閉じこもりがちなので、身近に運動や文化的活動ができる場所が必要である。
- ・ ある体育館をどこかに集約化する場合、今までの体育館を更地にすることになるだろうが、更地にするにも費用が莫大にかかるだろう。補助金の問題はクリアされているかを知りたい。
- ・ 歴史資料館・武道館など、高度経済成長期に造って現在活用されていないものがある。目立たない場所にあるため自分の町の住民も知らない状況である。市で集約化して管理してほしい。

20年後を考えると、旧町の境界にとらわれないことが必要だろう。北部エリア全体と、より細かな地域の両面から、それぞれに必要な機能を考えることが必要だ。

- ・ 旧町ではない地域割りに変更すべき時期が来ているのではないか。旧町を知る人は愛着もあり難しいと思う。しかし、高齢者は旧町意識があっても、若い世代では薄れていくと思われるので、20年30年先のことを考えると、旧町境は取り払っても良いだろう。
- ・ 北部エリアという視点から広く施設の配置を考えることもできるだろう（ある町の支所や体育館が古いので、同じ機能を持つ施設を隣町に建設するなど）。その場合は、交通の問題も加味するべきだ。
- ・ 北部エリア全体だけではなく、さらに細かいエリアでも公共施設の再配置を考えるべきであろう。そうしなければ、公共施設の統廃合・再配置は難しいのではないか。
- ・ 全市など、広いエリアから利用される公共施設と、特定の地域内で必要とされる公共施設を切り分けて考えてみても良いだろう。人件費の問題もある。両者をうまく組み合わせる方法を考えるべきである。

#### 【老朽化対策】

避難所に適していない施設もあり、老朽化対策は必要だ。ただし老朽化だけでなく、バリアフリー化など使い方に合わせた機能拡充も必要だろう。

- ・ 避難所指定されている施設のなかには、老朽化しており避難所に適されない施設がある（江迎町の地区公民館など）
- ・ 鹿町民族資料館は建物も古いし、利用者数も少ない。公民館等と複合化しても良いのではないか。
- ・ 老朽化が激しい施設を新しい施設に統合するような話は積極的に進めて欲しい。古い建物にはバリアフリー化が進んでいないところがあるため今後改修して欲しい。
- ・ 日常的に利用する施設（支所、公民館など）と、年数回利用する文化会館等は、複合化や集約化の考え方は異なると思う。例えば、支所、公民館については、老朽化に伴い地区ごとにどちらかの場所に複合化するという考え方は理解できるが、文化会館は他施設と目的や利用方法が異なるので老朽化したからという理由でどこかの施設と複合化することは慎重に考えた方がよい。

老朽化した施設は、一部機能を縮小してメイン機能を他に集約したり、住民向けスペースを整備したりと複合化を行うことが考えられる。

- ・ 大きな施設を1つ造って機能を集約させ、周辺に小さな施設を造る、という考え方も良いだろう。（鹿町の支所を小さくして、メイン機能は公民館に集約するなど）。
- ・ 住民サービスの質を低下させないために、メイン機能を移した後の元の場所に、支所

の出張所をおくと良いと思う。

- ・ 支所には、公民館のような文化祭を開催できる広い空間がないため、公民館を支所に統合する際は、広い空間を支所内に設けて欲しい。
- ・ 江迎町支所は公民館機能を併設しても、駐車場を整備すれば10年は維持できるだろう。

#### 【北部エリアの施設のあり方】

老朽化した施設などの維持は難しいかもしれないが、公共施設は地域のにぎわい、活性化の核であり、避難所としての機能も持っており、地域にとって重要な存在なので慎重に考えてほしい。

- ・ 老朽化した、単独の体育館は存続させるのが難しいだろう。そういった体育館の数は少なく、公民館に併設されているケースが多い。
- ・ 江迎中央体育館、鹿町体育館は、市町村合併を機に地区外から利用をする方が増えて、活気づいたと感じている。集約化すると地区外の方も自分たちも不便になるし、体育館周辺の活気がなくなるのではないかと心配である。
- ・ 鹿町地区の過疎化は深刻である。交通の便も良くない上、体育館が別の場所に行ってしまうと住民たちはどうしたら良いのだろう。効率化だけでなく、地区住民の立場も考えて適正配置をしてほしい。それが民間ではなく公の役割だと思う。
- ・ 江迎中央体育館は、体育館が地区住民の交流の場になっている。災害時の避難場所としても利用するので、どこかの体育館と集約化するのは慎重に考えてほしい。

地区ごとに施設を複合化することで、利便性が高まる可能性がある。中心的な施設や集約する施設は、機能（避難所、バリアフリー、アクセス性）を高めてほしい。

- ・ どこかの地区とどこかの地区の体育館を集約化するという考え方より、地区ごとに体育館、運動場、テニスコートなどのスポーツ施設を複合化するという考え方のほうが、住民にとっては利便性が高まると思う。特に江迎町、鹿町町はそうに進めたほうが、利用者や住民の抵抗がないかもしれない。
- ・ 江迎中央体育館は、避難施設としての機能を持たせてほしい。シャワーを設置し、避難生活ができるようにして近隣の人たちも非常時に使えるようにすれば良い。
- ・ 体育館を集約化する際は、災害時対応（避難所運営）のことも考えてのバリアフリーの視点は抜けないようにしてほしい。アクセス性も高めてほしいし、駐車場整備も必要となってくるだろう。
- ・ 吉井町の北部運動広場や体育館を、田ノ元の住民が利用すれば利用率が高くなるだろう。田ノ元には文化会館以外に体育施設がないが、吉井町の施設について知らないという現状があり、利用者を増やせる余地がある。

### 【スポーツ施設の適正配置の検討】

機能が充実している施設や、広域・多様に利用されている施設を残して、他を集約することも考えられる。また、利用状況が偏っている地域では調整が必要だろう。

- ・ 野球場や運動場などは、比較的新しく、機能として充実しているものを優先して残し、他は集約させても良いと思う。
- ・ 鹿町運動場と千鳥越野球場は、最近修繕をしているので機能としては充実している。両施設は残した方が良いと思う。
- ・ 野球場など、単独利用で利用率が低い施設は廃止して構わないのではないかと。鹿町町運動場は公民館附属だと思うが、ゲートボールなどが盛んに行われているため、そういう施設は残すべきだと思う。
- ・ 小佐々の中央運動公園も、公民館の横にあり広域で利用されているようだ。世知原野球場の駐車場が「じげもん市」でも使われているので、地域住民からの要望も強いだろう。
- ・ 鹿町の千鳥越野球場は国体が開催される立派な施設だが利便性が低く、住民はあまり利用しないらしい。福岡の野球関係者に声をかけるなど、PR活動に力を入れるなど利用率を上げることも重要だ。
- ・ 行事など、利用の仕方を調整することも考えられる。例えば、小佐々町にスポーツ関連行事を集中させる、別の地域では、別の行事開催等を集中させるなど。
- ・ 公共施設の利用状況を見てみると、利便性が高い施設は利用率が高い。利便性の高い場所で様々な行事が集約されている（小佐々町の海洋スポーツ基地や中央グラウンドなど）。そうしたイベントが集中している施設は予約が取れず、地域住民には不満がでている。一極集中を調整することも必要だ。特に小佐々町の施設利用は、本庁主導で決められているらしい。社会教育課と学校教育課の縦割りもある。
- ・ 地域のスポーツ施設を地域のみで使う、ということはもはや考えられないだろうが、地域の住民をある程度優先して利用させて欲しい、ということはある。

### 【遊休施設の利活用】

市が負担する維持管理費等を抑えるために、民間企業に貸し付ける、売却することが考えられる。売却益を使って、北部エリアの他の施設の機能を拡大できると良いだろう。

- ・ 廃止を検討する前に、管理を行ってくれる民間企業を募集してみてもどうか。公共施設運営を民間に開放する取り組みに努力を惜しまないことが重要である。
- ・ 民間に活用してもらう際は、使用料を取って貸し出す、ネーミングライツ料をとる、売却することが考えられる。そうすることで維持管理費が抑えられる。
- ・ 世知原町の野球場など、単独で利用度が低い施設、利便性の悪い遊休施設、民泊・体験型学習に使えるような施設も、民間に活用してもらう余地がある。
- ・ テニスコート（小佐々町の中央運動公園、小佐々町の大悲観、世知原町、鹿町町、吉

井町)は、地域住民があまり使っていないため、2つくらい残して廃止または集約してはどうだろうか。民間のテニスクラブに借り上げてもらう方法も考えられる。

- ・ 廃校になった学校施設は、管理会社を募集して管理を委託するという方法も考えられる。スポーツ施設として利用するというのも可能になるのではないかな。
- ・ 小佐々町のシーカヤックの会場は、九十九島よりも安上がりだが利用者が少ない。利用価値があるような施設はうまくPRしてほしい。または民間に活用してほしい。
- ・ 平戸のある小学校跡地は民泊となり、地域が運営している。また福祉施設になった小学校もある。施設の跡地利用については、無償買付などをしてもらい、地域のためになる施設を、地域で運営できるようにしたい。
- ・ 北部エリアで売却する施設は、その使い道をあらかじめ決めておくとうまいだろう。北部エリアでその利益を活用し、他の施設の機能向上に費やすべきだ。
- ・ 利用可能な施設や空きスペースは、積極的に住民に有効活用させほしい。市の管理主体の都合で、うまく利用できないことがある(健康福祉課と建設課の縦割りなど)。
- ・ 例えば、御橋観音のビジターセンターは厨房があるが全く利用できない。そのため御橋観音の観光は春夏のみになっている。民間に払い下げれば、有効活用でき、観光客を拡大できると思う。

#### 【学校施設の統廃合について】

児童数が減っていくので将来的には検討する必要があるが、学校は地域にとっても重要な施設なので慎重に議論するべきだ。統廃合する場合は、旧町に捉われない広いエリアで、効率的な設置を考えることも必要。

- ・ 現時点で児童・生徒の急激な人口減少は起きていないため、急ぎで議論する問題ではないはずだ。
- ・ 地域社会にとって学校の存在は大きい。単純に減らせばいいという問題ではないため、このWSではなく、しかるべき場で慎重に話し合うべきではないかな。
- ・ 資料では、旧町ごとに2つ以上学校があることや単学級が好ましくないという書きぶりだが、それ自体は問題ないのではないかな。
- ・ 将来の人口推移の視点から見ても、学校の統廃合は仕方がないことだとは思っている。学校を残し複式学級にすると教育プログラムを大幅に変えることになるだろう。教職員の負担も増えてしまい、子どもたちの学力低下も心配である。そうなるくらいであれば、統廃合した方がよい。
- ・ 統廃合する場合は、今の旧町の境界ではない広い枠組みで考えれば、効率的な学校設置が出来る可能性があるのではないかな。
- ・ 統廃合する際、地区内で小、中を一緒にして一貫校にするよりは、教職員の人件費や負担や効率を考えると、地区を跨いでも小学校間、中学校間で統合された方がよい。
- ・ 現在、鹿町の子どもたちは、保護者が江迎方面に勤務する時間帯に合わせて、送迎が

しやすいという理由から、鹿町小から江迎中に越境入学する生徒もいる。地区内の小中学校を複合化するという考え方よりは、車で 10 分程度の近隣小学校同志を統合する考えが効率的であろう。そのような考えだと江迎小と鹿町小、吉井北小と猪調小学校は統合可能ではないか。但し、送迎できないご家庭のためにスクールバスは必要となるだろう。

- ・ 学校施設を維持するより、スクールバスを運行した方が効率的な場合もあるだろう。
- ・ 学校と給食業務との関連も検討するべきだ。給食は、今後 10 年間は現状を維持できるだろうが、20 年後くらいになると給食センターも集約されるだろう。江迎町、鹿町町では小・中学校とも給食センターが 1 つになっている。世知原町も給食センター方式である。小佐々町・吉井町は単校方式らしい。

#### 【学校施設のあり方について】

学校の施設（体育館など）を地域住民に利用しやすく開放すれば、地域活動の場を広げることができる。

- ・ 統廃合するとしても、廃校になった体育館を地域住民が利用するといった有効活用が図られれば、地域活性化に繋がるのかもしれない。廃校だけで終わらせてはいけない。
- ・ 学校教育施設と社会体育施設と併用させれば、スポーツ施設から地域住民の活動が締め出されてしまうという問題が解決されるのではないか。
- ・ 小学校の体育館を住民に利用させてもらえたとしても、水道・電気が使えない、トイレが利用できないといった状況である。住民に寄り添った利用状況にしてほしい。
- ・ 市が学校と協議して、学校の体育館やグラウンドを地域住民が利用できる状況にして欲しい。確約がない状況では、住民側から学校に話を持っていくことは難しい。保育園など利用の要望を出しても却下されるところがある。

#### 【避難所配置について】

水害をはじめとした災害対策を重視して、公共施設の配置を考えるべきだ。避難場所としての機能（備蓄品、ヘリポート）の整備も考えてほしい。

- ・ 北部エリアは何度も水害を経験しているため、災害対策を一番に考えて公共施設の配置を考えるべきだ。避難所への距離、アクセスのしやすさを踏まえるべきだ。
- ・ 特に、吉井町にとっては佐々川の水害は死活問題である。土砂崩れの危険性もあり、崩壊しないところはないという状況下にある。インフィニタス周辺しか避難する場所がない状況で、不安がある。
- ・ 小佐々町では、10 メートルの津波がくれば沿岸地域は壊滅的な被害を受ける。鹿町町、江迎町も同様であり、新しい建物を建てる場合は 3 階以上に避難できるようにしなければならない。浸水を前提として建物を建てる必要がある。今の江迎支所が災害時に機能するか不安なので、新しい施設を建設するべきではないか。

- ・ 小佐々町支所のように、避難所に適した立地にある施設は、毛布や非常食等を常備し、防災機能を高める必要がある。
- ・ 江迎地区公民館は、避難所になっているが、その上にある山の二段堤から水が漏れ出しており、避難所には適さない。避難所とする際は、周囲に危険がないかを確認する必要がある。
- ・ 水害などがあった場合、ヘリコプターが着陸できる施設が重要になる。

#### 【その他の視点】

その他の視点として、公共交通機関や道路状況といった人の流れの動線と、地域への愛着という視点も考慮すべき。

- ・ それぞれの地域には独自の動線、人の流れがある。今ある人の流れに沿って、公共施設の配置を考えるべきだ。単なる距離的な近さだけでなく、公共交通機関や道路状況から移動しやすいか、といった動線の視点から検討することが大事になる。
- ・ 人の流れでいけば、最近は買い物の人の流れが、佐世保市内よりも、福岡に流れている。
- ・ 地域の愛着度といった視点も勘案すべきである。合理性だけでは、住民は納得できないのではないか。地域住民の感情として、愛着のある公共施設を壊されることに感情的に納得できない部分がある。

#### 【今後の WS の進め方、配布資料について】

他の町の状況は分からないので、もう少し情報が必要だ。既に作成している、施設評価を活用して議論することも効率的だろう。

- ・ 公共施設を削減するという方向性に賛成しているが、自分の町のことは分かるものの他の町の事情が分からず、意見が言えない。市全体で話し合うのであれば、各町の施設の利用状況が分かる資料が必要だ。
- ・ 参加者の共通の土台となる旧 5 町の施設ごとの利用者属性・利用状況・利用のされ方・利用者実数等がわかる資料をもとに論議したい。
- ・ どれくらいの施設を削減すべきか見当をつけるため、公共施設の削減目標を示して欲しい。
- ・ 施設の必要性和コストは別問題であるので、必要性の面を掘り下げた資料があると議論がしやすい。
- ・ また、学校関係では通学時間・通学キロ数があると議論の参考になる。
- ・ 既に市にて、施設ごとに A～D などの評価を行っていたはずである。その評価を活用し、A・B の施設は活用方法を話し合い、D の施設をどう再編するか話し合うほうが効率的ではないか。
- ・ この WS の場で自分の町の施設を減らして良いとは言えない。そういった意見を出す

のであれば、自治協議会に持ち帰って議論する必要がある。

- ・ 公共施設の統廃合を考える場合、住民の意見を聞きすぎていると話が進まなくなってしまう。市が方針を示していかないと、統廃合は実現しないだろう。

以上